

在宅での吸引処置における 感染防止対策

在宅での吸引処置

在宅における吸引処置では、気管挿管チューブや気管切開の気管カニューレから吸引する場合（以下、気管吸引とする）と、口腔や鼻腔から吸引する場合（以下、口腔・鼻腔吸引とする）で、チューブの管理方法が異なる。

なお、在宅療養では在宅療養管理料の範囲内で必要物品を選定する場合も多い。そのため、管理方法については、患者・家族とよく話し合い、同意を得て、決めていくことが重要である。

1. 気管吸引

1) 必要物品

- ① 吸引器
- ② 吸引カテーテル
- ③ 単包アルコール消毒綿
- ④ 個人防護具（手袋、マスク、エプロン）

2) 気管吸引のカテーテル管理

気管吸引の場合、吸引カテーテルはできるだけ単回使用が望ましい。単回使用が無理な場合でも、可能な範囲の短い時間で交換する。

2. 口腔・鼻腔吸引

1) 必要物品

- ① 吸引器
- ② 吸引カテーテル
- ③ 単包アルコール消毒綿
- ④ 水道水（清潔な入れ物に用意）
- ⑤ 個人防護具（手袋、マスク、エプロン）
- ⑥ 清潔なカテーテル収納用ふた付きケース



2) 口腔・鼻腔吸引のカテーテル管理

- ① 吸引カテーテルを再使用する際は、必ずアルコール綿でカテーテル外側を清拭し、アルコールが揮発したことを確認してから口腔・鼻腔を吸引する
- ② 吸引した後、カテーテル外側をアルコール綿で清拭し、唾液や喀痰をすべて取り除く
- ③ カテーテル内腔を洗浄するため、水道水を吸引する。吸引後に空気中で数秒間、カテーテルに吸引圧をかけることで、内腔に残っている水分を取り除く。吸引に用いた水は汚染するため、吸引毎に交換する
- ④ 使用後のカテーテルは、清潔なふた付きの収納ケースに入れておく。収納ケースは1日1回、中性洗剤で洗浄し、乾燥させたものを使用する

※口腔・鼻腔吸引に使用する吸引カテーテルは 24 時間を目安に交換することが望ましい

【吸引手順】

1. 物品を準備する



水道水は清潔な容器に入れておく

2. 手をしっかり洗い、使い捨ての手袋を装着する



3. アルコール綿でチューブの外側を清拭消毒し、アルコールが揮発してから吸引を行う



4. 再度、チューブの外側に付着した唾液や喀痰をアルコール綿ですべて取り除き、水道水を吸引する。吸引した後、空気中で数秒間吸引圧をかけ、内腔の水分を取り除く
使用後のカテーテルは清潔なふた付きの収納ケースに入れておく

